

ヒメイズイ	<i>Polygonatum humile</i> Fisch. ex Maxim.	絶滅危惧 I 類	
		ユリ科	
選定理由	岐阜県では分布が限られているうえ、生育地での個体数が減少している。	写真(高橋弘) 	
形態の特徴	根茎は細い。茎は直立して、長さ20-30cm。葉は披針形から長楕円形、長さ3-7(-10)cm、幅2-3cm、裏面脈上に小突起がある。花柄は葉腋基部から下方へ曲がり、1(-2)個の花がつく。花被は長さ5-20mm、白色、基部は細く短柄状になる。花糸に乳頭状突起がある。		
生態的特徴	草原や林縁に生育する。花期は5-6月。		
分布状況	極東の中～北部に分布し、日本では北海道から九州まである。岐阜県では飛騨地方東部に見られる。		
減少要因	開発による生育地の消滅と、栽培のための採取による。		
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。		
特記事項	冷温帯域の草原状の場所の現状変更を計画する際は特に注意すべきである。		
参考文献			

文責: 高橋弘